

## 新型インフルエンザ対策は万全？

**議員** 今回提案されている補正予算案に、新型インフルエンザ対策の経費が計上されているが、概要を尋ねる。また、重症患者を受け入れるための病床は確保できているのか。

**保健福祉局長** 新型インフルエンザ対策の経費の内訳は、市立医療センター等の感染症病棟の改修経費や、学校等で使用する消毒液やマスク等の購入経費などである。

これらにより、患者の増加やウイルスが変異した場合に対応できる資器材の備蓄がほぼできたと考えている。

また、病床数の確保に関しては、国が示したシナリオでは、本市のピーク時の入院患者数を約350名と推計しているのに対し、11の新型インフルエンザ協力医療機関において400強の病床を確保している。

さらに、その他の医療機関でも入院患者の受け入れが可能であり、病床数は確保できていると考えている。

## 7月の豪雨災害を受け今後の河川改修等の対策は？

**議員** 近年、局地的な激しい雨により、想像を絶する速さで河川の増水やはんらんが起きている。本市にも甚大な被害を与えた7月の豪雨災害を受け、今後、河川改修等の対策をどのように進めていくのか。

**建設局長** 今回の記録的な豪雨では、特に、小倉北区と小倉南区の紫川沿いで、多くの床上浸水が発生した。

河川の災害復旧については、今議会で復旧費の補正予算案を提出しており、議決後に、早急に工事を実施する。

また、今後の河川改修については、現在改修中の紫川などは、各河川の治水計画に基づき、着実に事業を進めていく。治水計画を定めていない河川

についても、各河川の流下能力等を検証の上、必要に応じて計画を策定し、早期改修に取り組んでいく。

今後も、市民の安全・安心のため、河川のさらなる治水安全度の向上を目指し、河川改修に取り組んでいきたい。

## 使いやすい制度に改善を！

**就学援助制度および奨学金制度**

**議員** 就学援助や奨学金は、入学時等の一番お金が必要な時に間に合わない仕組みになっており、前倒しの支給など制度を使いやすく改善してはどうか。また、資格要件の緩和等を検討してはどうか。

**教育長** 就学援助の認定までの期間が長いのは、多くの都市が2〜3カ月であるのに対し、本市では、約1カ月という短期間で取り組んでいる。また、就学援助の認定は、所得などの一定の基準を基に行っているため、認定が確定する前の前倒しの支給や立て替え払いは適切でないと考えている。

一方、奨学金制度の資格要件の緩和については、本市の奨学金制度は県などの制度の補完的な位置付けであり、貸付要件もこれらに準じているため、要件の緩和は難しい。

なお、年収の極端な減少により困窮している家庭に対しては、修学に必要な資金の一部を緊急に貸し付ける緊急貸付奨学金制度を設けている。

今後も、引き続きこれらの制度の充実に向けて取り組みたい。

## 地域の祭りに活力を！

**議員** わっしょい百万夏まつりが市のイメージアップや経済効果の面で有益である反面、市内各地の伝統的な夏祭りは開催日が近いこともあり、見物客が減少し、経済効果も低下している。地域の祭りの保存や振興の強化のため、市はどのような支援に取り組んだのか。

**産業経局長** 地域の祭りの関係者と意見交換をする中で、観客の減少への不安や、広域的な集客の必要性などの意見を聞いている。

これを受けて、タウン誌や地元テレビ局などのメディアへの掲載の働きかけや、東京などの旅行会社への売り込みの結果、小倉祇園や戸畑祇園などを組み込んだ東京発のツアー商品が発売されるなどの効果が現れている。

祭りは、大きな経済効果をもたらす観光資源として重要であり、今後とも広く意見などを聞きながら、祭りに対する支援を継続し、より多くの方に来てもらえるよう、広域的にPRに取り組んでいきたい。



わっしょい百万夏祭り

## 和布刈地区の魅力向上に向けて

**議員** 門司港レトロ観光まちづくりプランには、和布刈地区に民間活力を生かした観光施設の整備を推進するところがあるが、整備に向けた検討状況はどうか。また、宿泊温泉施設を整備する場合には、めかり会館の釜風呂にあるライオンの蛇口等を移設して残せないか。

**産業経局長** 同プランでは、観光列車の終点となる和布刈地区に、民間活力による観光施設を整備し、地区全体の魅力の向上を図ることとしている。

既に、「関門海峡めかり駅」周辺に

総合案内所などの設置を終え、本年度中には展示車両を活用した休憩施設の整備等を行う。

また、和布刈公園は、瀬戸内海国立公園の一部に指定されており、土地の利用規制等があるが、民間による観光施設の整備の可能性について、市の関係部局と検討を進めている。

なお、めかり会館の蛇口等の移設については、観光施設の事業者や地域住民等の意見を聞きながら検討したい。

## 優れた取り組みにさらなる支援を

**小倉南区中谷地区の里山保全**

**議員** 紫川流域の中谷地区では、伐採した里山の竹を竹炭に加工したものを紫川の水中に設置し、川の浄化などに取り組んでいる。

このような民間の優れた取り組みについて、市として、今後どのような援助が検討できるのか。

**市長** 中谷地区の活動では、水が浄化され、小魚が増えるなど、自然が再生されるとともに、地元の子どものふるさとへの愛着がはぐくまれるなど、大きな成果が得られている。

この活動は、まちづくり協議会が中心となった地域ぐるみのものであり、地域おこしにもつながっていることから、今後の里山保全のモデルケースと考えている。そこで、鉄などの用具購入の補助や、活動などを紹介するウォーキングマップの自主的な作成の支援など、地域活動の主体性を高める手伝いをしていく。

## 北九州市に世界遺産誕生？

**議員** 官宮八幡製鐵所関連の施設を含む九州・山口の近代化産業遺産群がユネスコの世界遺産暫定

一覧表に登載されたが、世界遺産に登録された場合、どのような効果が期待できるのか。また、今後、世界遺産への登録に向けてどう取り組むのか。

**市長** 世界遺産に登録されると、本市のブランドイメージの向上、観光客の増加、市民の我が街に対する自信と誇りの醸成、県境を越えた自治体間や民間レベルの新たな連携等、大きな効果が期待できる。

一方、世界遺産の登録には、市民の気運の盛り上がりが必要である。そこで、市民の気運を醸成する契機とするため、産業遺産の分野では世界的な権威である海外の専門家を招いて世界遺産国際シンポジウムを開催するなど、世界遺産への登録に向けての取り組みを盛り上げていきたい。



旧官宮八幡製鐵所本事務所

## 市民が成果を実感できる決算報告を！

**議員** 現在の決算報告を見ても、そこから税金の使い方が市民の幸せにどれくらいつながったかが分かりづらい。人口の増減や個人所得等の統計データを以前と比較して、予算執行の効果をどうとらえているのか。また、市民が成果を実感できるような分かりやすい決算報告にできないか。

**市長** 市の予算の執行状況が、統計データの増減にどの程度

寄与しているかを正確にとらえるには、かなり高度で専門的な経済分析を必要とし、難しい課題である。

しかし、行政サービスの品質管理や市民への説明責任を果たすなどの観点から、事業の実施結果だけでなく、その成果を検証して次につなげることが極めて重要だと考える。

このため、市基本計画や市経営プランに、政策評価システムの構築に取り組むことを盛り込んでいる。本年3月には、同計画に掲げる主要な施策を推進する上で参考となる148の成果指標を公表した。

また、市都市経営戦略会議で、政策評価の在り方について議論を開始した。その中で、引き続き成果指標についてもしっかりと検討していきたい。

## 学校施設をもっと活用したい！

**議員** 本市では、学校教育に支障のない範囲で体育館や運動場などを開放する事業を行っているが、この事業の対象を生涯学習活動などに広げるとともに、教室の開放も行うべきではないか。

**教育長** 本市では、従来から地域的な遊び場の確保のために、体育館や運動場などを開放し、毎年100万人近くの方が学校施設を活用している。

普段使っている教室は、セキユリティの確保などの観点から開放は難しいが、最近では、新たに整備した学校において、セキユリティの確保をした上で特別教室を開放できるよう工夫をしている。

しかし、このような工事には多額の経費がかかることから、直ちに広げるとは難しい。

学校も、地域の大切な公共資源として、地域住民の利用に役立てることは大切であると考えており、今後とも、関係部局と連携して、開放、活用に向けて検討を行っていく。